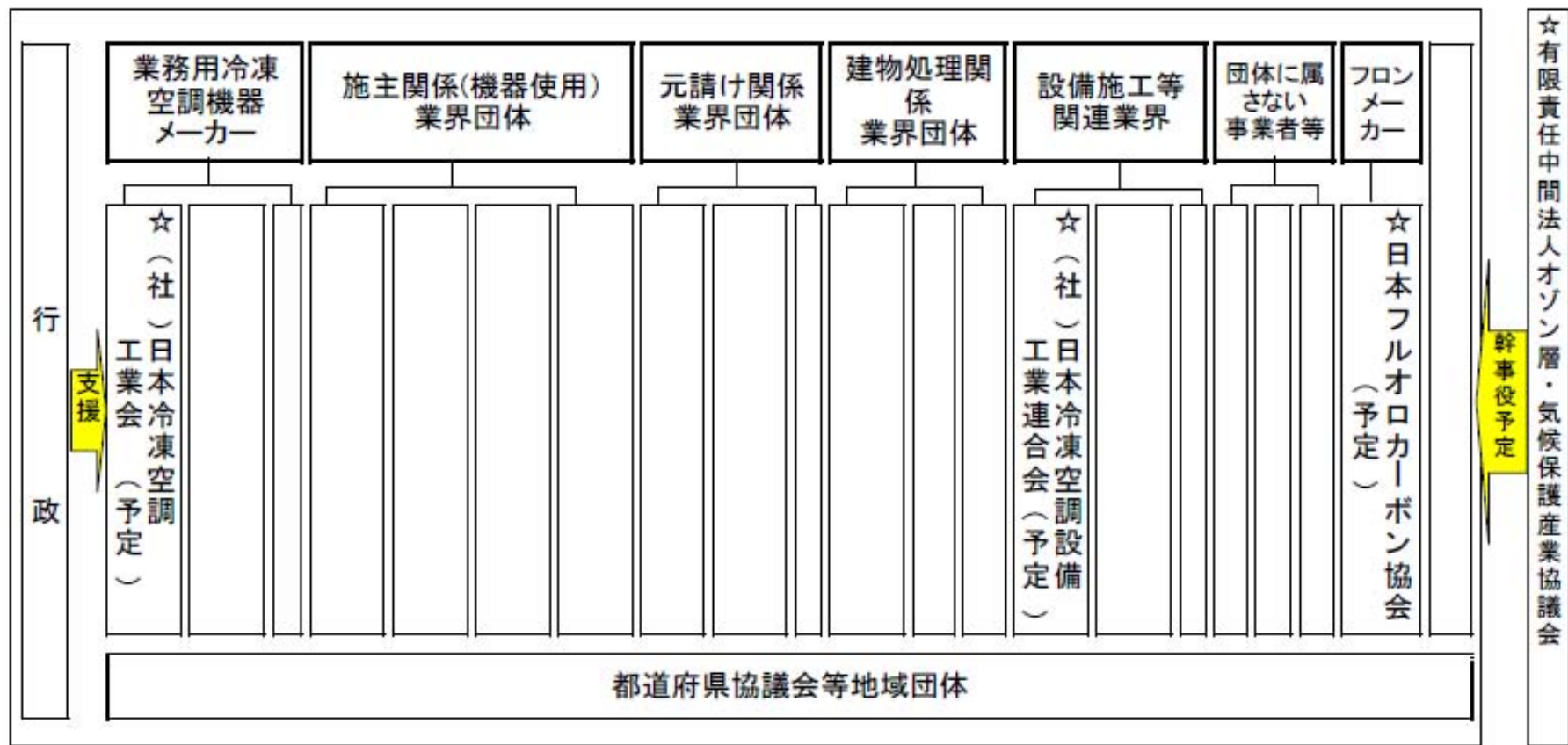


産業界による冷媒回収促進体制の構築

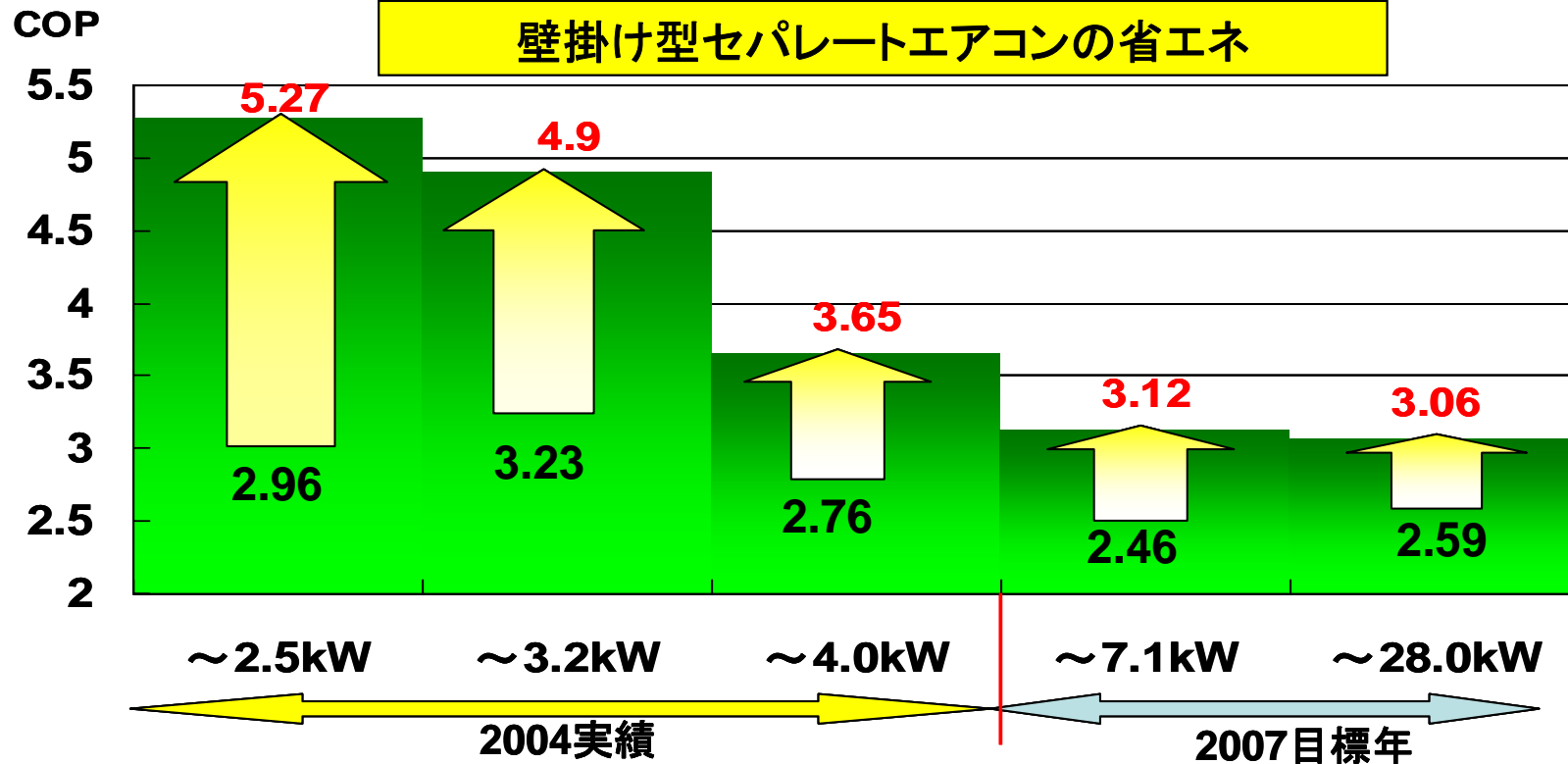
冷媒回収に係る関係者の連携の強化のため組織を準備中

フロン回収推進産業協議会(案)



省エネ機器の市場供給 (GHGの間接排出量削減)

温室効果ガスの排出削減にはエネルギーの使用削減が極めて重要
冷凍空調業界は率先して遂行



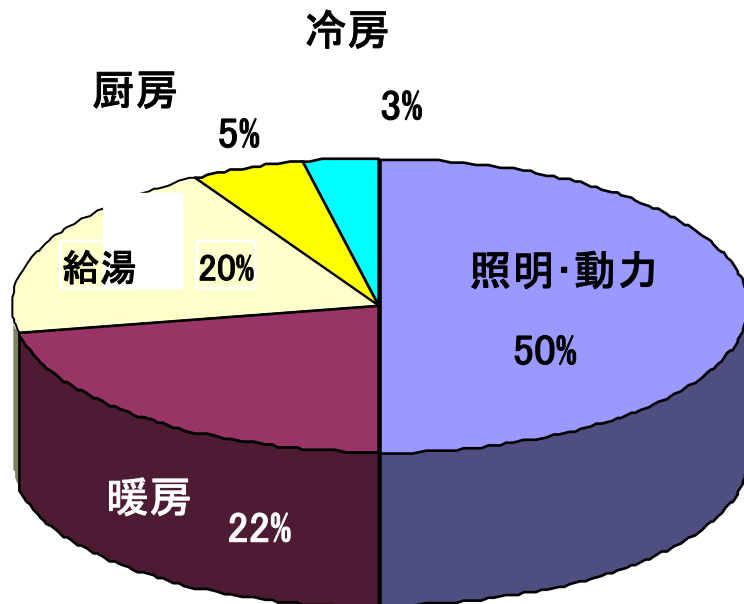
2004年度エネルギー効率: 1997年度比で+67.8%を達成

今後、新ターゲットに向けて更なる省エネ推進
(2010年に現在比+22.4%)

ヒートポンプによるCO₂排出量削減ポテンシャル

現在の暖房機や給湯機器を高効率のヒートポンプ空調機や給湯機へ置き換えることにより多くのCO₂の排出削減が可能 ⇒ 将来のために計画的な準備が必要

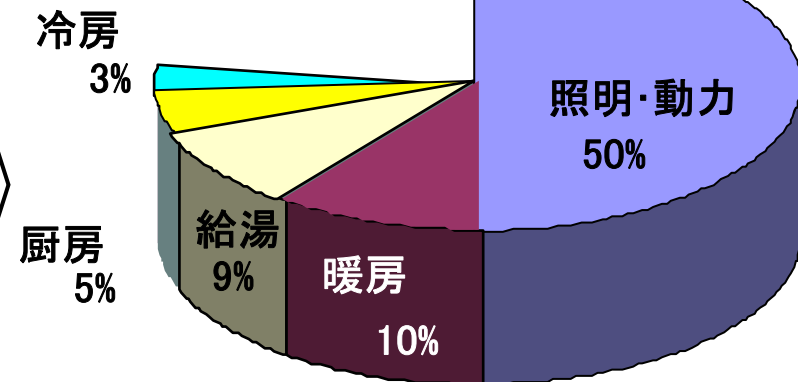
2004年の家庭からのCO₂排出量と用途別内訳



約168百万CO₂ton

HP化後のCO₂排出量

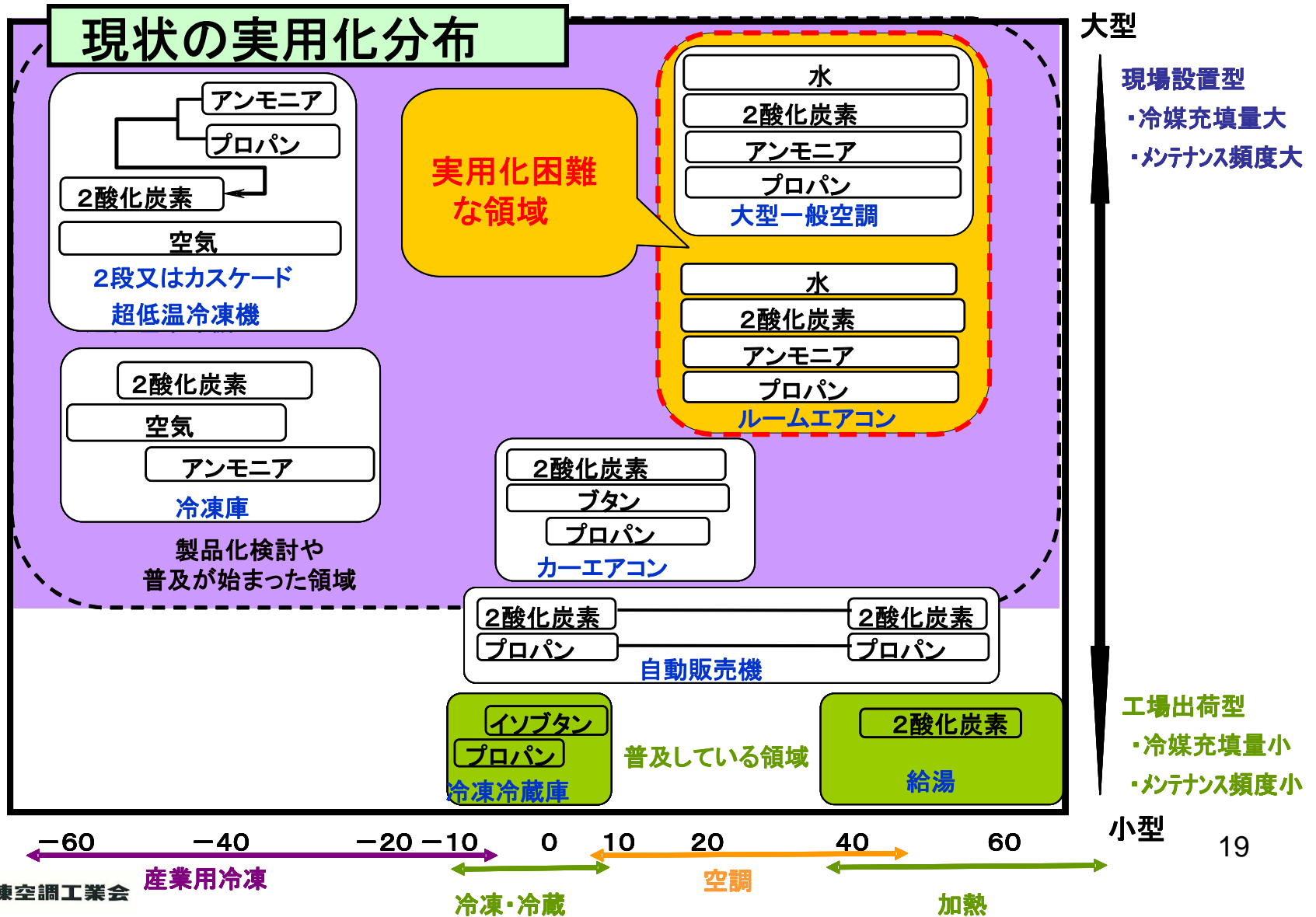
約20%以上のCO₂が削減可能



約131百万CO₂ton

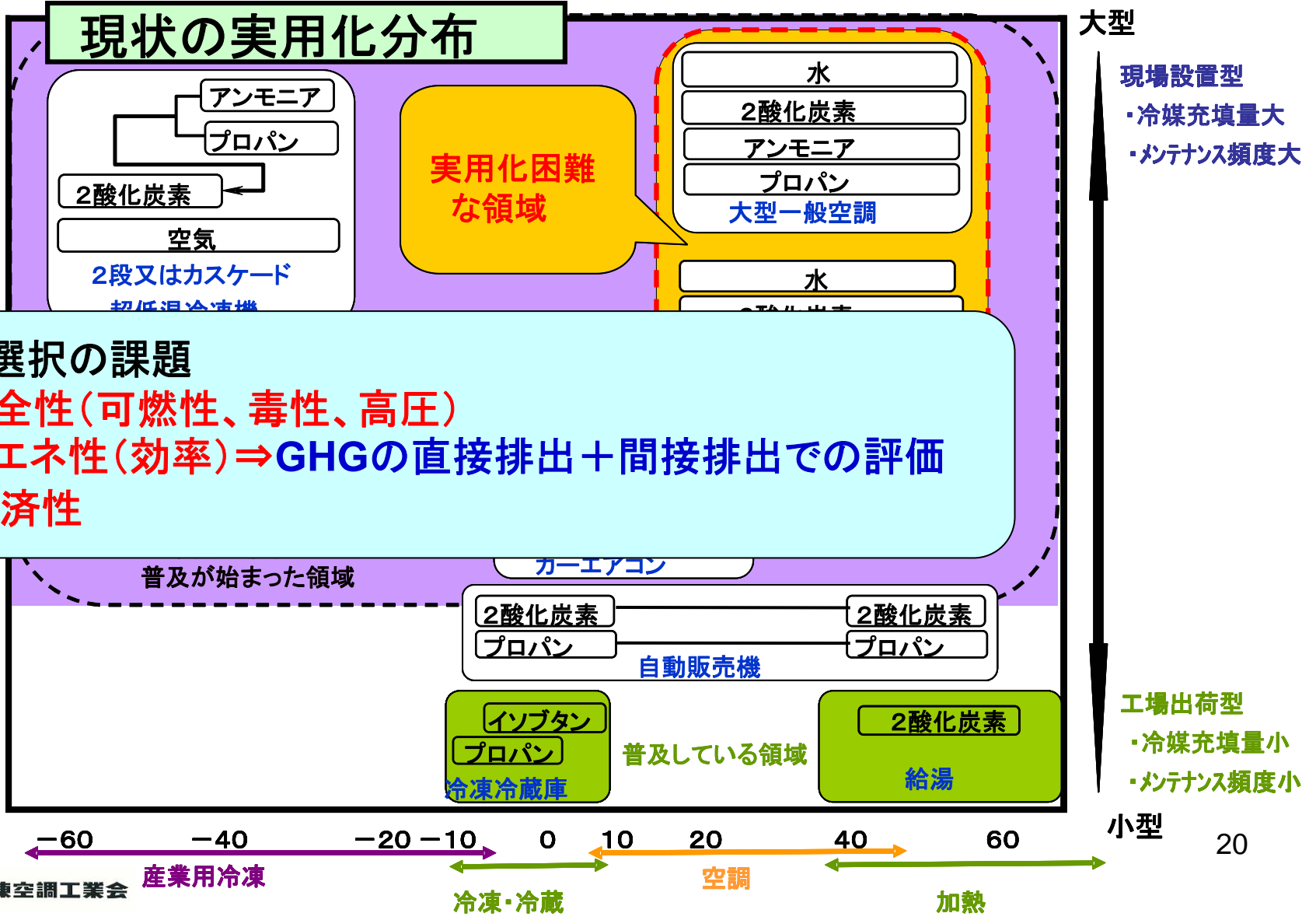
自然冷媒機器の開発挑戦

冷媒量が多く、不特定多数の人が自由に使用する機器が課題

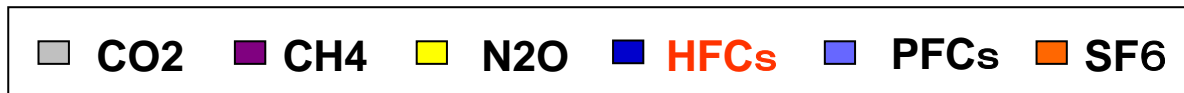
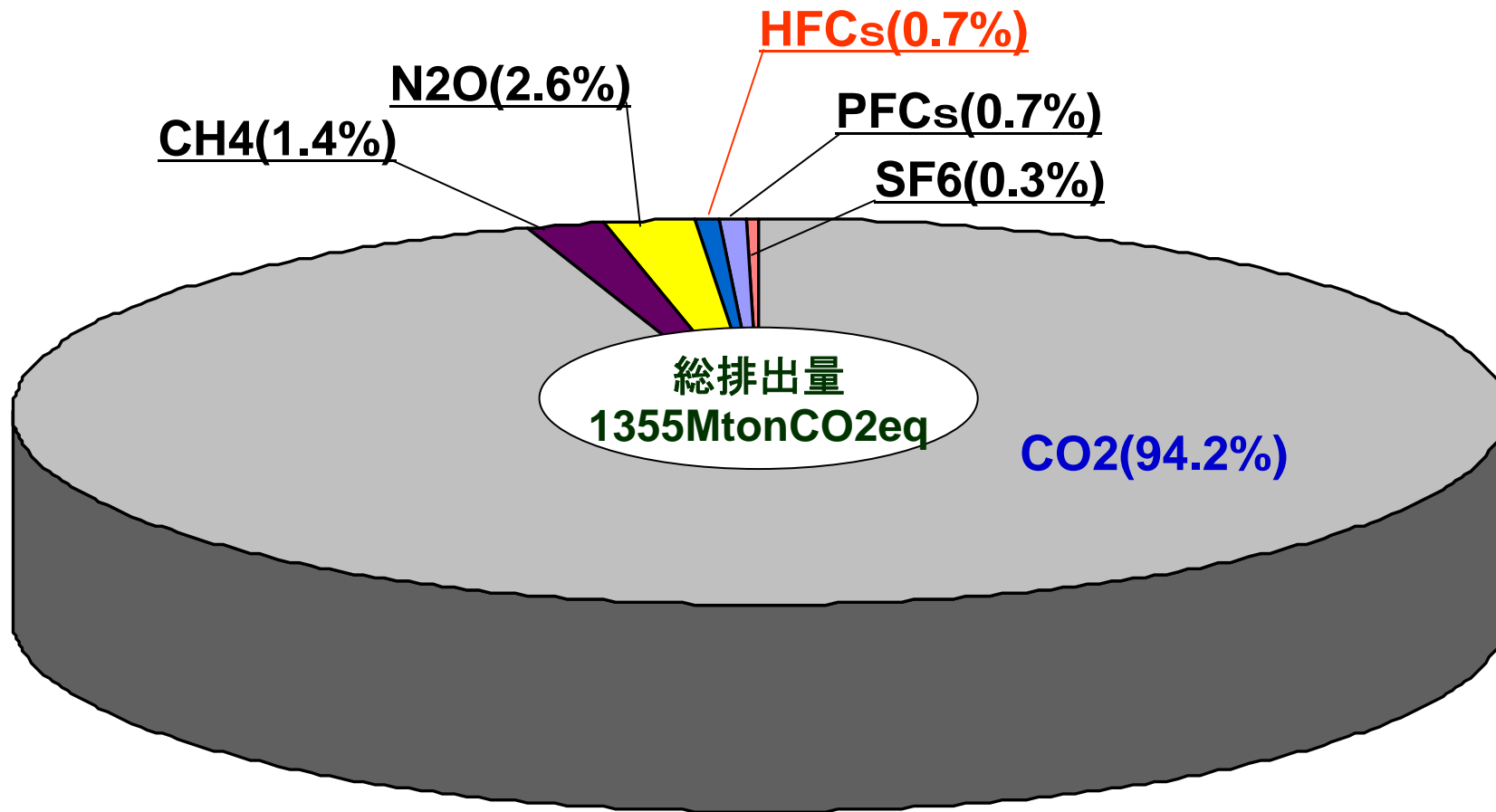


自然冷媒機器の開発挑戦

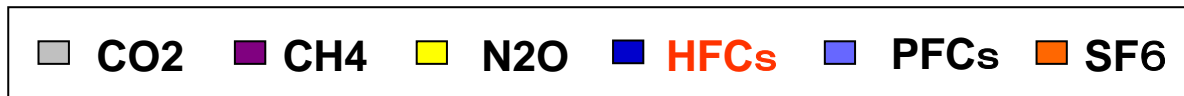
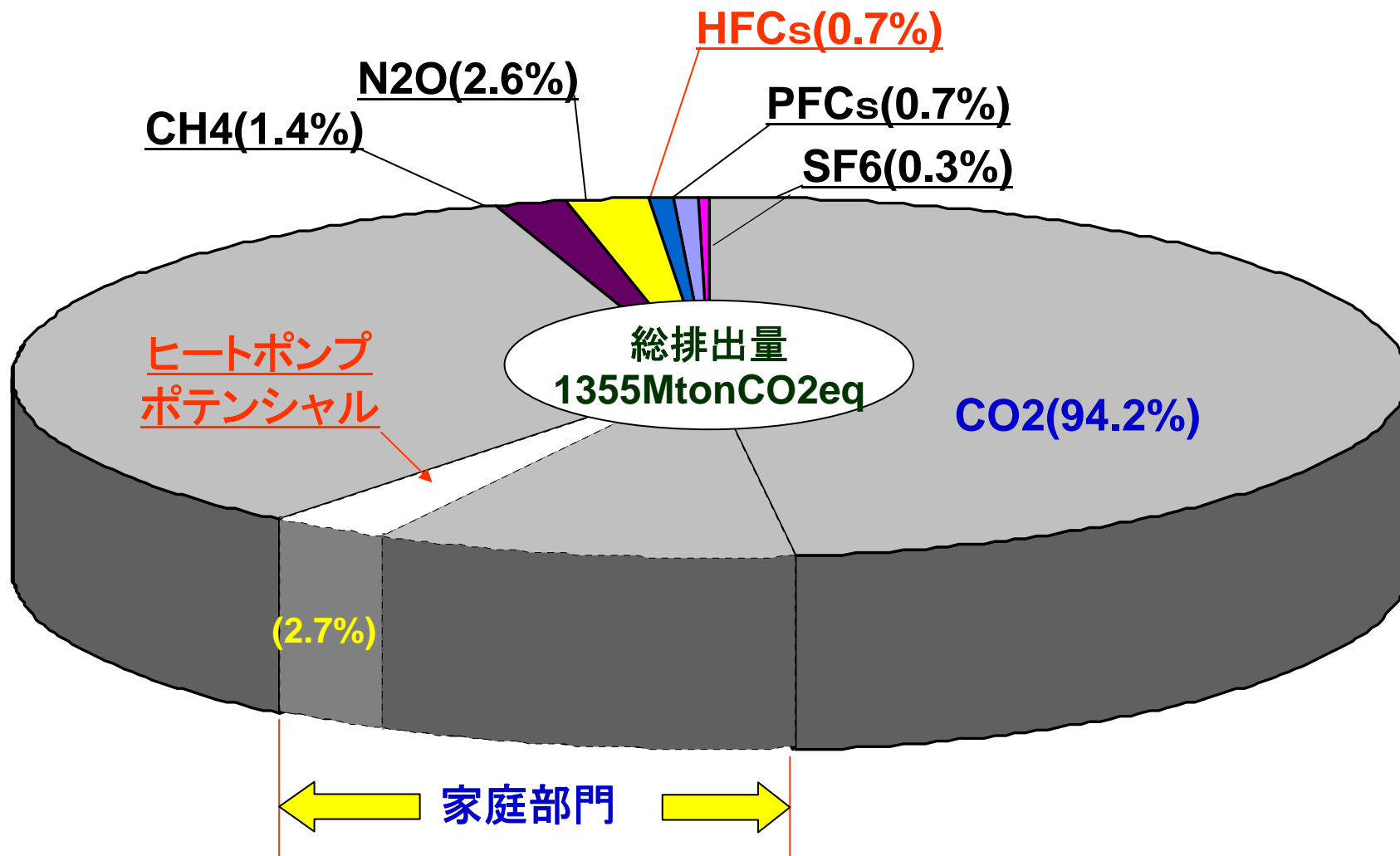
自然冷媒機器の開発・普及拡大には地道な課題解決が必要。
 短期的な効果は小。適材適所の普及推進が必要



2004年の温室効果ガスの排出割合

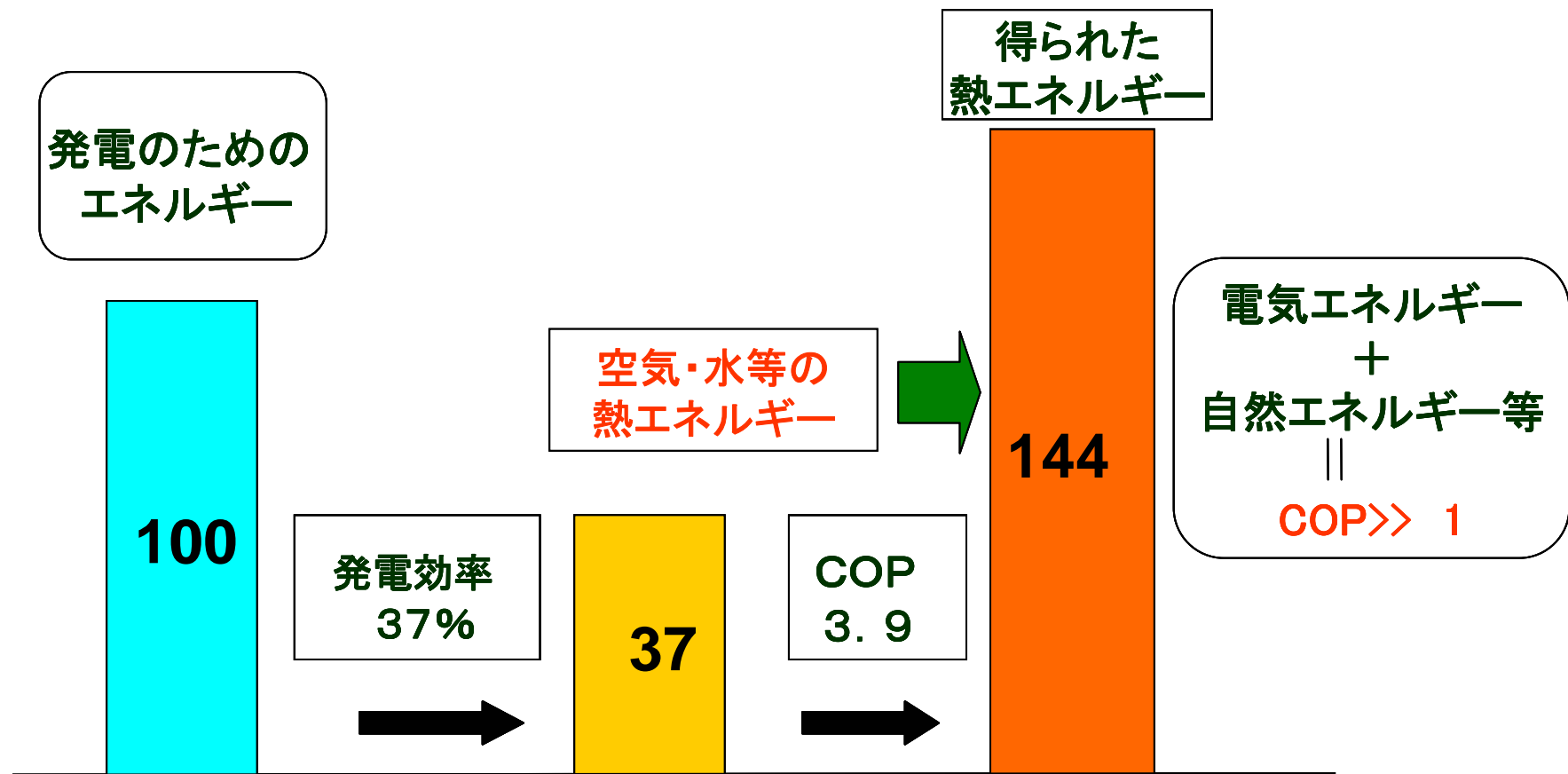


2004年の温室効果ガスの排出割合



ヒートポンプの省エネルギー性

100のエネルギーで144の熱が得られる



まとめ

* 短期的な取り組み

- * 冷媒回収推進

* 中期的な取り組み

- * 高効率機器の開発・普及促進
- * ヒートポンプ機器への転換促進
- * エクセルギー的観点での対応

* 長期的な取り組み

- * 低GWP機器の開発・新冷媒の開発
- * 都市廃熱利用システム等の開発・普及促進